

代表・一般質問

本会議の録画中継を
区議会ホームページでご覧いただけます
<http://www.gikai-adachi.jp>

区政を

将来を担う子ども達の育成 と魅力ある学校づくりを!

自由民主党 高山 のぶゆき 議員



こころの健康対策の充実を

【問】 今回の自殺対策計画では、これまでの取り組みを生かした区の特徴となる内容についてどのようにとらえ、これからさらに進めていこうとしているのか。

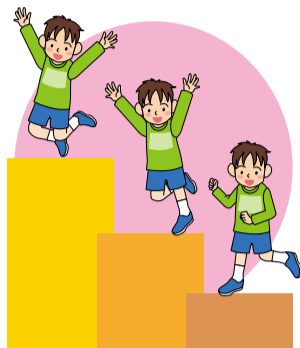
【衛生】 多くの関係機関とのネットワークが組まれていることが他の自治体と比較して評価されている。今後は計画に掲げた成果指標の達成度を検証しながら、生きる支援として自殺対策を推進していく。

【子ども】 ①学校に通える児童生徒の場合は、別室や保健室に

継続的な学力向上の取り組みを

【問】 来年度以降も子ども達の学力を確実に定着させていくには、今年度の学力調査結果に満足せず、基礎学力の定着と向上に向けた取り組みを教育委員会が最重要事項として、引き続き取り組んでいく必要があると思うがどうか。

【学力定着】 今後も学力向上の取り組みの手を緩めることなく、これまで以上に基礎学力の定着・向上を最重要課題として全力で取り組んでいく。



不登校予防への学校づくりを

【問】 ①不登校児童生徒の学習

足立区議会公明党

高齢者・子どもにやさしい 安心安全のあだちを!



公明党 岡安 たかし 議員

全庁一丸で前進できる組織に

【問】 全職員が適材適所で誇りを持って働けるよう区の今後のありべき組織論、人材登用の方針について区長の見解を伺う。

また、後継育成には若者にチャレンジさせて見守っていく寛容さが求められるが併せて伺う。

【区長】 組織のあり方として力を置いていくのは、協働、協創を推進していくための庁内体制整備と多様化・複雑化する行政ニーズに対応するための庁内連携体制強化の2点である。

人材登用については、個々の強み等を的確に把握し、職員が能力を発揮できる部署に配置できる仕組みを構築していく。

また、AIと伍したときに淘汰されない能力育成も重要だと考える。旧主任主事1年目を対

において学習の場を個別に設けている。学校へ通えない場合でもチャレンジ学級で学習指導を行い、どうしても家庭から出られない場合には個別に学習の機会を確保する。今後は不登校の児童生徒一人ひとりに適した学習支援を行っていく。

②平成28年度の実績では、支援の対象となった児童生徒の75%で登校状況に改善が見られた。不登校を予防し、一人でも多くの児童生徒が学校へ通えるよう別室登校支援を拡充していく。

【子ども】 ①学校に通える児童生徒の場合は、別室や保健室に



公明党 岡安 たかし 議員

全庁一丸で前進できる組織に

【問】 全職員が適材適所で誇りを持って働けるよう区の今後のありべき組織論、人材登用の方針について区長の見解を伺う。

また、後継育成には若者にチャレンジさせて見守っていく寛容さが求められるが併せて伺う。

【区長】 組織のあり方として力を置いていくのは、協働、協創を推進していくための庁内体制整備と多様化・複雑化する行政ニーズに対応するための庁内連携体制強化の2点である。

人材登用については、個々の強み等を的確に把握し、職員が能力を発揮できる部署に配置できる仕組みを構築していく。

また、AIと伍したときに淘汰されない能力育成も重要だと考える。旧主任主事1年目を対

り入れるべきと考えるがどうか。

また、区として学校の働き方改革プランを策定し、副校長を補佐する等、独自の取り組みをすべきと考えるが併せて伺う。

【教育長】 国や都の施策活用について研究を進めるとともに、平成30年度に都の学校マネジメント強化モデル事業を利用し、副校長の負担軽減を図っていく。

また、全教職員を対象に実施した業務負担調査結果を集計・分析中であり、教育委員会として、学校の働き方改革プランを平成30年度中に策定する。地域・保護者への啓発をはじめ、その目標達成に向け、できることから取り組み、働き方改革の一層の推進を図っていく。

【問】 障害者雇用促進法改正で、

【問】 障害者雇用促進法改正で、精神障がい者も雇用率の算定対象になる。区が精神を含むすべての障がい者雇用拡充に取り組むことが大切だがどうか。

【福祉】 雇用拡充に取り組むことは大切なことと認識している。障がい福祉センターでは、ハローワーク等と連携して、積極的に雇用拡充に取り組んでいく。

【問】 これまでも賑わいある施設を設置を強く要望してきた。フットサル等、多目的に使用できるスポーツ公園として整備すべきと考えるが見解を伺う。

【政策経営】 庁内に立ち上げた作業部会で検討を始めたところである。周辺施設と整合を図り、地域や議会の意見を伺いながら、提案内容も含め検討していく。

【問】 来年度の国庫補助事業であるスクール・サポート・スタ

ツフ配置支援事業を積極的に取



個々に寄り添う不登校支援を

【問】 別室登校やチャレンジ学級に行きづらい子もいる。自宅

検討し導入すべきだがどうか。

【子ども】 学習環境の確保は重要な課題である。家庭から出られない、発達特性により文字認識に課題がある等、学習ソフトを活用した支援も効果があると

考えられるため、検討していく。

【問】 政府は来年度以降、0から5歳児の無償化を推進していく方針であるが、都認証保育所のような国の認可外保育施設は無償化対象になっていない。助成を拡充し、認証保育所の保護者負担を軽減すべきだがどうか。

【子ども】 認可外保育施設について、国は平成30年夏までに無償化範囲等の結論を出すとしている。今後の負担軽減は、国の

【問】 障がい者雇用の拡充を

【福祉】 雇用拡充に取り組むことは大切なことと認識している。障がい福祉センターでは、ハローワーク等と連携して、積極的に雇用拡充に取り組んでいく。

【問】 これまでも賑わいある施設を設置を強く要望してきた。フットサル等、多目的に使用できるスポーツ公園として整備すべきと考えるが見解を伺う。

【政策経営】 庁内に立ち上げた作業部会で検討を始めたところである。周辺施設と整合を図り、地域や議会の意見を伺いながら、提案内容も含め検討していく。

【問】 来年度の国庫補助事業であるスクール・サポート・スタ

ツフ配置支援事業を積極的に取

なお、認可施設は平成30年度から低所得世帯について保育料を無償とし、認証保育所でも、低所得世帯に対する助成額の増額により、認可施設と同等の保護者負担の軽減を予定している。

【問】 当区に病児保育室はない。我が党として平成29年に「東部地域病院において、病児・病後児保育の実施に向けた要望書」を区長に提出したが進捗を伺う。

【子ども】 病院内に設置方針で協議を進めており、利用定員を足立区4名、葛飾区4名の合計8名とすることや対象を小学3年生までとするといった利用概要等は確定している。引き続き、葛飾区及び都と協議を進め、平成31年2月の開設を目指す。

【問】 障がい者雇用の拡充を

【福祉】 雇用拡充に取り組むことは大切なことと認識している。障がい福祉センターでは、ハローワーク等と連携して、積極的に雇用拡充に取り組んでいく。

【問】 これまでも賑わいある施設を設置を強く要望してきた。フットサル等、多目的に使用できるスポーツ公園として整備すべきと考えるが見解を伺う。

【政策経営】 庁内に立ち上げた作業部会で検討を始めたところである。周辺施設と整合を図り、地域や議会の意見を伺いながら、提案内容も含め検討していく。

【問】 来年度の国庫補助事業であるスクール・サポート・スタ

ツフ配置支援事業を積極的に取

高齢者が健康で住み続けられる安心な暮らしの実現!

公明党 前野 和男 議員



介護予防・日常生活支援総合事業で高齢者の笑顔と活躍の場を

【問】 ①事業推進にあたり、高齢者の自立支援に資するため、リハビリテーション専門職等を活かすとしている。理学療法士等の専門職をどの様に活用し、介護予防を推進するのか。

②元気応援ポイント事業に参加している区民は、昨年末で2千395人となった。事業に参加している区民に研修を受けていただき、区独自の訪問型サービス事業を担っていただいているかどうか。

【福祉】 ①昨年発足した東京都理学療法士協会足立支部や柔道整復師会等の各専門職団体と連

携し、より効果のある介護予防対策を検討していく。

②2月14日に事業参加者との意見交換会を実施した結果、介護の担い手として活動する意欲のある方がいることが明らかとなった。今後、介護の担い手として必要な研修、事業者とのマッチングの仕組み等を早急に検討し、介護人材確保に努めていく。

【問】 小規模多機能型居宅介護の施設整備は、これまで開設準備経費の補助がなかったが、看護小規模多機能型居宅介護と同様の補助をすべきだがどうか。

また、施設配置にあたっては、